

2019年2月14日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小林 茂  
(コード: 4583 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 経営企画室長 美女平 在彦  
(TEL. 03-6383-3746)

## 2018年12月期業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2018年12月期(2018年1月1日~2018年12月31日)業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2018年12月期業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 259	百万円 △887	百万円 △883	百万円 △882	円 銭 △33.48
当期実績(B)	212	△1,539	△1,533	△1,533	△57.26
増減額(B-A)	△47	△651	△650	△650	
増減率(%)	△18.1	-	-	-	

#### (差異の理由)

2018年12月期業績につきまして、売上高は、47百万円の減収となり、これは前期に創薬事業でCBA-1205の導出一時金を計上していた影響によるものです。

創薬支援事業については既存取引先の取引量が減少する一方、新規の製薬企業との取引を開始するなどの結果、同事業の売上高は210百万円(業績予想値220百万円)となりました。なお、2019年度の創薬支援事業の業績予想につきましては、2019年2月14日にお知らせしております『2018年12月期 決算短信』に記載のとおり、売上高は320百万円となっております。

また、各段階利益につきましては、創薬開発パイプラインCBA-1205のCMC開発やBiotechnol社からのがん治療用抗体TB535H(開発コードCBA-1535)及びTribodyを2百万ポンドで資産譲渡を受けたことによる研究開発費の増加が主な要因となり、営業利益・経常利益・当期純利益がいずれも前年より赤字幅が拡大いたしました。

以上